

Ⅱ 畜産公共事業

1 方針

平成23年度に計画樹立、平成24年度から整備を開始した熊本南部地区について、戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業により、草地造成改良や施設整備を実施します。

熊本南部地区は、県内最大の水田地帯を擁しており、稲の飼料利用の進展、拡大に伴い畜産経営への自給飼料供給基地としての重要性があり、地域には比較的畜産経営が少ないことから地域外も含めた供給力の強化が求められています。また、地区内の山間部においては、遊休化した農地の畜産的な利活用が強く求められてきたところです。

そのため、水田地帯の自給飼料基盤としての機能強化と山間部における遊休化した農地の利活用をすすめるために必要な施設整備等を行うことにより、畜産と耕種の有機的な連携による飼料基盤に立脚した足腰の強い畜産経営の育成強化を図ります。

この事業を県の指導、関係市町村、団体等の協力を得て、効率的な推進を図ります。

事業の概要

事業名	地区名	関係市町村	事業実施期間	総事業費(千円)	25年度事業費(千円)
戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業	熊本南部	八代市 氷川町 球磨村	平成24年 ～ 平成27年	980,000	252,497

注1) 事業費は、平成25年2月末の数値である。

2) 総事業費は、付帯事務費及び建設利息を含まない数値である。

3) 25年度事業費は、建設利息までを含んでいる数値である。

補助率	国庫補助金	100分の50以内(工事費:測量試験費)
	県補助金	100分の10以内(工事費:測量試験費)
		100分の60以内(工事雑費:一般管理費)
		100分の50以内(付帯事務費)

2 事業内容

(1) 事業費総括表

(単位:千円)

事業名	地区名	25年度	24年度	増減
		事業費	事業費	
戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業	熊本南部	252,497	203,642	48,855

(2) 熊本南部地区事業計画

(単位：千円)

区 分		熊本南部地区		
		平成 25 年度		
		事業量	事業費	
基本 施設 整備	草地造成改良	ha	28.6	22,000
	飼料畑造成改良	ha	0.71	4,500
	飼料畑整備改良	ha	1.30	2,700
	道路整備	m	1,200	48,000
	小 計			77,200
農業 用 施設 整備	畜舎整備	箇所	1	16,000
	家畜保護施設	箇所	1	7,900
	家畜排泄物処理施設	箇所	4	123,308
	小 計			147,200
測量試験費				3,900
計				228,308
工事雑費				4,362
一般管理費				16,287
計				248,957
付帯事務費				2,738
計				251,695
建設利息				802
総 計				252,497